

工業製薬野奥

## 食品で菌・ウイルス除去

### 紙包材など表面コートに提案

奥野製薬工業は、除菌・ウイルス除去剤「TOP NOBAC LB」を上市した。同品は保存料・ポリリンと酵素の相乗効果を生かした製剤

である。アルコール製剤等への使用はもともと、食品由来であり安全性が高いという切り口から、紙製の容器・包材のコーティング剤としての提案

に力を注ぐ。同社の強みを生かし、新市場の開拓に乗り出す。TOP NOBAC LBは、ポリリンが静菌効果を示す微生物に加

効果と安全性の高さがアピールポイントとなる。また、アルコール製剤に同品を添加することで、アルコール単体では効きにくいノンエンペロフウイルスへの効果を付与できる。さらに噴霧後にアルコールが揮発してからも、効果を持続させることが可能だ。

同品は、同社内の部門を超えたコラボレーション製品である。食品部門が持つ微生物制御の知見と、無機材料部門が持つコーティング剤の知見を掛け合わせることで、新規市場を見据えた製品開発が実現した。同社は引き続き食品向けにポリリン製剤を供給するとともに、新規の用途も開拓

え、酵素との相乗効果によるノンエンペロフウイルスへの除去効果も兼ねる。短時間でウイルス除去効果を示すとともに、有効成分が揮発しないため効果の持続性が高い点も特徴だ。

紙製の容器・包装には、同品をそのまま塗布することで使用できる。表面の菌・ウイルスが除去できるため、容器・包装を経由した人や内容物への汚染対策が可能だ。食品の一次包装に使用する目的ですでに問い合わせを受けているほか、飲食店のテイクアウト容器などでもニーズを見込んでいく。

食品関連用途以外にも、アルコール不使用のウェットティッシュや、子供が触れる可能性の高い紙製品などにも提案していく。いずれのターゲットに対しても、優れた

することで、その優れた効果と安全性を幅広い業界に向け周知していく。